



上志津原ふれあい通り彼岸花 MAP

上志津原まちづくり委員会

<http://kamishizuhara.jp/>

■彼岸花 100 万本計画

2008 年、まちづくり委員会発足を契機に「彼岸花 100 万本計画」事業がスタートしました。委員会のふれあいどおり部会が主体となり、遊歩道の安全・美化活動の一つとして取り組んでいます。町の有志から彼岸花の球根を譲り受け、遊歩道の一角に移植して 10 余年が経過、100 万本到達はまだまだ先とのことですが、現時点でこれほどの見応えですから、達成したらどれほどになるのか、想像するだけでワクワクしてきます。計画がスタートして 10 余年、上志津原自慢のふれあい通り「春の桜」「秋の銀杏」に並ぶ風物詩に定着し、開花時はお散歩、ジョギング、撮影の方々に賑わいを見せてくれます。

わざわざ遠くから訪れる方も増えており、訪れた方々を介して「上志津原の彼岸花」は更に伝播して行くのだと思います。年々賑わいをます彼岸花ですが、維持管理は大変な重労働です。彼岸花はチューリップやユリと同じ球根植物で、「分球」することで数を増やしています。ある程度球根の株が大きくなったら、掘り起こして「分球」を行い、別の場所へ植え替える作業を行っています。とてもシンプルな作業ですが、数が多いのでとても手間がかかります。人数が多いほど短時間で作業を終える事ができますので、是非ご協力をお願い致します。これからも皆さんに愛されるふれあい通りであり続けるため、四季折々の草木・草花の維持管理、清掃作業にご協力をお願い致します。

上志津原 ふれあい通り 彼岸花 MAP

誰となく**築山**と呼ぶ。ふれあい通りに突如現れるこんもりとした小山。山腹から山頂に掛けて彼岸花が群生しているので、開花すると築山の形が良く見とれます。築山を迂回するように遊歩道が整備されており、そのため緩やかなカーブとなっている。夜道を自転車で走ると突っ込みそうになる名所だが、今は大きな矢印看板が置いてあり、築山に突っ込む人はいないでしょう。



バス停周辺の群生地。通勤・通学などでバスを利用される方々にお馴染みのエリアです。交差点からは南コースと西コースの両方を見渡すことができ、隣接する



はら公園 エリアと合わせるとふれあい通り最大の群生地です。ここでは白い彼岸花が点在しており、訪れる方々にとても人気があります。また、バス停花壇の季節の草花と共に楽しむことができるエリアです。

ふれあい通り「西コース」の**最西端**。遊歩道はダイコンが目印の中央ワーズに突き当たります。遊歩道の両脇は幅広く開けており、桜並木の足元を覆い尽くすように群生しています。遊歩道、桜並木、彼岸花のコントラストが良く映える名所です。西志津との境界付近でもあり、西志津方面から散歩やランニングに見える方も多しエリアです。



通称**ふれあい公園**。紫陽花と共に彼岸花が群生しています。公園内のいたる所で彼岸花が咲いています。はら公園は子どもたちからご高齢の方まで沢山の方々が訪れる、この町に住む方皆さんに最も親しまれているエリアです。公園のベンチに腰掛け、ゆっくりと楽しんで頂く事ができます。



幸野花壇付近の群生地。遊歩道の両脇に細長く群生しており、赤と緑のコントラストが特徴的な名所です。南コースの中間に位置しており散歩途中の小休憩に最適。

彼岸花を眺めながらの休憩に丁度良い位置にベンチが設置されており、しばし時間を忘れて長居をしましょう。ベンチが空いたら座ってみましょう。



銀杏並木の彼岸花。銀杏並木の足元を覆い尽くすように群生する。彼岸花の赤が整然とそびえ立つ銀杏の緑を一層際立たせています。銀杏並木とセットで眺めて頂くのがベストです。今は遊歩道を挟んで片側の群生ですが、近い将来両側が揃うだろうと期待されるエリアです。



ふれあい通り「南コース」の**最南端**。ふれあい通り最大の群生地です。日当たりが良く、彼岸花の育成が良好です。開けた空間が彼岸花の群生をより一層引き立てているように思います。視線を低くする彼岸花が赤いじゅうたんの様に見えてきます。撮影に訪れる方を良く見かけます。ふれあい通りの最南端のためか、普段は訪れる人はそれほど多くないエリアですが、散歩やランニングの愛好家にとっては貴重な憩いのエリアとなっています。桜の開花時期と彼岸花の開花時期は多くの方が訪れて賑わいを見せています。



最南端には白い彼岸花が群生しています。有志の方からご寄付頂いたとのこと。赤と白のコントラストはとても見応えあり。

様々な表情を見せるふれあい通りの彼岸花、是非お気に入りの場所を見つけ、1年毎の成長を見守り頂けたらと思います。